

文学的な文章を読むためのワークシート(例)

「大造じいさんとガン」 (光村図書 102 ページ・東京書籍下 64 ページ)

- (1) 前書きのあとの四つの場面に名前(タイトル)をつけてみましょう。

4	3	2	1

- (2) 「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が大きく変わった場面はどこですか。

大造じいさんの気持ちや残雪の様子を読み取る練習として、場面の展開てんかいに沿って、次の課題に取り組んでみましょう。

- 一 【1の場面】大造じいさんは、どうして「うつぶむ。」と『感嘆の声』をもらってしまったのでしょうか。

《考えるヒント》

大造じいさんは残雪のことを、はじめどのように思っていましたか。

大造じいさんが考えた「特別な方法」とはどんなものでしたか。

「特別な方法」に対して、残雪はどのような行動をとりましたか。

えさ場を変えた残雪らのことを、大造じいさんはどう考えていましたか。

二 (1) 【2の場面】大造じいさんが「ううん。」とうなってしまったのはなぜでしょう。
《考えるヒント》

大造じいさんが考えたタニシのしかけとはどんなものでしたか。
そのしかけに対し、残雪らはどのような反応^{はんのう}でしたか。
残雪らに対し、大造じいさんはどのような気持ちでいましたか。

二 (2) 大造じいさんが【1の場面】で「ううむ。」と思わず感嘆^{かんたん}の声をもらしてしまったときと、【2の場面】で「ううん。」とうなってしまったときとを比べ^{くら}べて、大造じいさんの気持ちは、どのように変化しているでしょうか。

《考えるヒント》

大造じいさんは残雪に対して、だんだんとどのように思うようになったのでしょうか。
「思わず感嘆の声をもらす」と「うなってしまう」とでは、どのようなちがいがある
でしょうか。

三 (1) 【3の場面】大造じいさんの気持ちが大きく変わったことが分かる大造じいさんの行動や様子が書かれているところをぬき出してみましよう。

《考えるヒント》

大造じいさんは、【3の場面】で、はじめは残雪をどうしようと考えていましたか。

三 (2) 【3の場面】で、大造じいさんが「強く心を打たれて、ただの鳥に対しては、残雪のどのような行動や様子からでしょうか。」

《考えるヒント》

ハヤブサが大造じいさんのおとりのガンを一けりしたとき、残雪はどのような行動をとったでしょうか。

四 (1) 【4の場面】大造じいさんの気持ち分かる表現をぬき出してみましよう。

《考えるヒント》

大造じいさんの会話や、行動を表している部分に注目してみましよう。

四 (2) 【4の場面】大造じいさんと残雪はどのような関係になったでしょうか。
《考えるヒント》

大造じいさんは北へ北へと飛び去っていく残雪をどのような気持ちで見守っていたでしょうか。

(な) 関係

五 (1) 「大造じいさんとガン」を一言で表すならば？

の物語

五 (2) 右のように考えた、自分なりの理由をまとめよう。

椋鳩十むくひんじゅうさんの他の作品も読んでみましょう。

《作品例》

マヤの一生
片耳の大シカ
月の輪グマ
孤島の野犬
カワウソの海
など

